

達成度：H22.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

会計課の目標（平成21年度）自己評価書

会計課長 菊間 利和

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は 達成できなかった理由等
<p>1、適正かつ効率的な会計事務の推進 出納事務の適正執行のため、各課等会計担当者の事務処理能力の向上を図るとともに、会計課職員が専門的な知識の習得に努め審査能力の向上を図ります。</p> <p>2、資金の効率的な管理運用 町全体の資金状況が厳しい中、資金執行計画表によりの確な資金需要の把握に努め、効率的な資金管理を行います。また、「資金管理基準」に基づき安全性を最優先としたうえで、金融情勢を注視しながら、余裕資金及び基金の確実かつ有利な運用を図ります。</p> <p>3、町民に信頼される支払い事務の推進 支払い遅延防止に向けた取組の推進のため、期日指定等の徹底管理と口座振替不能件数の削減に努めるとともに、日々の審査を通じて、透明性の確保など予算執行に対する意識の醸成を図ります。</p> <p>4、チャレンジ目標 資金執行計画表を基に資金運用を計画的に実践するため精度の高い計画表を策定するとともに、国債等の公共債による債券運用のほか歳計現金の効率的な運用に努めてまいります。</p>	<p>4</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各課会計担当者との連携を密にし、適宜指導を行う中で事務処理能力の向上と、専門的知識の習得に努め、審査能力の向上を図る中で出納事務を適正に行った。 ・ 資金需要の把握に努めながら、安全性を最優先とし、余裕資金及び基金について国債等による運用を図った。 ・ 各課会計担当者との連携を密にし、適宜指導を行う中で、透明性の確保など予算執行に対する意識の醸成を図り、期日指定等の徹底と、口座振替不能件数を削減することができた。 ・ 精度の高い資金執行計画表を作成し、資金需要をよく見極めながら、余裕資金の国債等による運用を行った。